

第34回 うつのみやこども賞だより

平成29年度 3回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『香菜とななつの秘密』

福田隆浩／著（講談社）

『ひいな』

いとうみく／著（小学館）

～読んだ本の感想より～



- 香菜が勇気を出し、みんなの前で自分の意見を言えたときはすごいと思った。
- 学校で起きる事件を、香菜と広瀬くんが解決していくところがよかった。一緒に考えたり想像したりもできてよかった。
- まったく関係のないとこでなぞをとけることをすごいと思った。
- その後の話も自分でこうなるんじゃないかなと想像できて楽しい。

- 香菜はひっこみじあんだけど、推理力があってすごくてびっくりしました。
- 広瀬くんの疑いを解決して、素敵なことが待っているというラストですっきりした！



- おひめさまが出てきてとても愛らしいおはなしで、興味深く、おもしろいおはなしでした。
- 由良と濃姫は、どちらかが欠けてはならない大切な関係だと思った。
- ひな人形が動くしゃべるといふ不思議な世界と人の世界がうまく重なっておりとてもおもしろかった。
- 由良は冒険心が強い子だと思いました。
- 2人のきずながわかる本だった。
- 歴史上とはちょっと違うのう姫が面白かったです。

『あぐり☆サイエンスクラブ』

堀米薫／著（新日本出版社）

- 田植えなどのことが知れて勉強にもなる本でした。自分もやりたくなりました。
- ふれたことのあまりない田んぼのことがかかれています農作業って本当に大変なんだとしみじみ思った。
- あぐりという言葉にも意味があってとてもわくわくする本でした。
- 色々な農業科学についてしれておもしろかったです。
- 田んぼはとても、不思議だと思いました。ぼくも田植えをしてみたいと思いました。

『ゆくぞ、やるぞ、てつじだぞ』

ゆき／著（朝日学生新聞社）

- てつじがみんなを幸せにしているとても良かったです。
- てつじの出会いがすごくおもしろい。ひとみのマンガでのてつじもおもしろくてみんなから好かれる子だと思いました。
- 日常にありそうでなさそうなおもしろいストーリーで、鼻でたてぶえをふいたところなどの笑えるシーンもたくさんあった。
- ひとみとてつじの仲がほほえましくて、心がほっこりした。
- てつじの考えることがおもしろかったです。

平成29年8月6日